

中山間地域における生活サービス確保の仕組み構築等業務
 公募型プロポーザル選定委員会
 議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和6年3月25日 13:30~14:55
2	場 所	WEB
3	出席委員	地域政策局中山間地域振興担当部長 健康福祉局地域共生社会推進課長（代理：同課参事） 商工労働局商工労働総務課長 地域政策局交通対策担当課長 地域政策局中山間地域振興課長
4	議 題	中山間地域における生活サービス確保の仕組み構築等業務の実施予定者選定
5	担当部署	中山間地域振興課
6	開催方法	参集（オンライン）
7	議事内容	<p>得点の最も高かった事業者を選定することに委員からの異論はなく、業務の実施予定者をみらい株式会社に決定した。</p> <p>なお、審査基準を踏まえた主な総括意見は下記のとおり。</p> <p>【みらい株式会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体等とも関係性を有しているうえ、事業者の確保策も具体的であり、地域の課題を踏まえた業務遂行が期待できる。 ・中山間地域における生活サービスに関する課題、住民ニーズを幅広く把握していると感じた。現地に入り込み、多様なプレイヤーを巻き込んで事業化してきた実績があり、そのノウハウの活用が期待される。 ・「対策の方向性についての提言」などにあるとおり、本事業への理解度が高く、事業達成に向けた動きもできており、また、事業者確保などの実績もあることから、実現可能性が高い提案である。 ・独自提案ではあったが他地域への展開が期待できる内容であり実施してはどうか。 ・独自にプレイヤー探索を行い、マッピングするなど、具体の取組に向けた姿勢が顕著である。 <p>【株式会社さとゆめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の状況分析（需要・供給）を丁寧に行う点は評価するが、協力事業者の確保等実効性に不安が残る。

	<ul style="list-style-type: none">• 地域外の人材や民間企業を活用する手法が特徴的で、事業展開の仕組みの設計における、「交通インフラ」「生活サービス事業者」「小さな拠点の運営」の組み合わせの提案には、中山間地域の実態に合った視点が盛り込まれている。体制の面や学校経由・町内経由のアプローチなどの目論見に対し、実現に必要な地元調整力に課題を感じる。• 広島県での事業実績はないものの、他県での実績は豊富であり、その経験やノウハウを広島県の中山間地域にうまく組み合わせることで、効果的な計画立案につながる可能性がある。• 外部企業との連携や企業会計情報を開示していくという視点は良いが、本県でどこまで実現可能か判断が難しい。• 地元で提供されるサービスの買い支えの考え方は首肯できるものであるが、その一方で、それだけで行動変容に結びつくかどうかは、確信が持てなかった。
--	--